

光葉同窓会メールマガジン

<2024年4月号>



202号 2024.04.01 配信

桜前線が、日本列島を上昇中です。学園の桜もソメイヨシノから八重桜へと次々と開花しています。新年度がスタートしました。新入生、新社会人、そして皆様それぞれの新たな始まりに、期待と不安を抱きつつ、目標の達成に向けて、歩みだしましょう。

メールマガジンは、2024年4月より「光葉同窓会メールマガジン」と改称し、引き続き、多くの情報を提供したいと思います。ぜひ友人の皆様にも配信のご登録をお勧めください。お読みいただいた感想もお寄せください。引き続きのご愛読をよろしくお願いいたします。(常任委員 横塚昌子)

◇光葉同窓会入会式

3月16日、人見記念講堂において卒業式が挙行了されました。引き続き、第2緞帳の前で光葉同窓会入会式を行いました=写真(右)。各学科から選出された65人の新幹事も紹介しました。卒業式での祝辞と入会のことばを光葉同窓会報102号に掲載しています。ぜひご覧ください。

また当日、32支部から贈られた祝電を人見記念講堂ロビーで展示し、参列された方にご覧いただきました。



◇生涯学習参加者募集

✿紫陽花と向日葵のリボンリース手作り教室✿

7月6日(土)13時30分~15時30分 参加費:3,000円

申込開始は、4月15日(月)から メールまたはFAXでお受けします。

詳細は、光葉同窓会報102号でご確認ください。

イメージ



◇第51回光葉同窓会総会・懇親会 日時:5月19日(日)11時~14時15分/会場:学園本部館大会議室
※出席される方は、会報同封の払込取扱票で会費(3,500円)を4月22日(月)までにお振込みください。

○大学からのお知らせ

川平朝清名誉理事 第75回NHK放送文化大賞 受賞

戦後、沖縄で県民向けの放送を立ち上げ、初代アナウンサーとして活躍。その後、民間放送局の役員や沖縄放送協会の会長を歴任し、沖縄におけるNHK・民放の二元体制の基礎を築きました。本土復帰後は東京で放送の国際展開や文化的発展に携わり、沖縄の放送界の発展に貢献し続けています。

広げよう光の葉

長江（熊谷）有里子さん

1990年英語英文学科卒

『世の光となろう』を人生の羅針盤として

私は附属高等部から五修生として短期大学の英語英文学科に進みました。

バブル景気に沸く世間ほど華やかではないものの、校則が厳しかった中高部時代に比べたら大学生活は自由で、文化講座などの学びも楽しく過ごしました。将来は文章を書く仕事に憧れ就職活動を始めましたが、出版社や新聞社の採用は4大卒者のみでした。諦めて一般事務を考えていた時期に参加した共同通信社の講座で、社屋見学がありました。これまで、昭和の清潔で整然とした校舎で学んできた私には、雑然とした雰囲気、喧噪の中で働く方々の姿は新鮮な世界でした。こんな自由な雰囲気の会社で働きたいとマスコミでの就職を希望し、読売テレビに入社しました。

最初は営業でサブ的な仕事でしたが、昭和で培った地道な仕事ぶりが信頼、評価され、段々と責任ある仕事を任されるようになりました。その後、大阪の本社に転勤し、秘書や経営企画を経て宣伝部に異動しました。『ミヤネ屋』『ケンミンSHOW』『名探偵コナン』やドラマ、報道など様々な番組での視聴率アップのためのPR企画立案や広報担当として、取材や記者会見の設定や対応など多岐にわたる仕事をしました。それまで経験しなかったほどの忙しさと大変さがありましたが、自分のアイデアを具現化する楽しさは余りあるものでした。また番組の内容をまとめたプレスリリースを作成することもあり、ようやく憧れであった文章を書く仕事の実現しました。その傍ら昭和女子大学のキャリア支援センターで就活支援を始めました。社内では後輩から相談を受けることが多かったことから対人支援に興味を持ち、国家資格のキャリアコンサルタントを取得しました。

私は中高部での全校鑑賞や短大時の文化講座がきっかけとなり、舞台や音楽鑑賞に足しげく通っておりまして。いつしか自分でイベントを制作したいという思いが強くなり、異動願を出し、イベント事業でプロデューサーとして舞台、音楽、美術展などに携わり、自ら落語を企画する充実した日々を送っていました。ちょうどその頃に会社が早期退職者を募っていました。自分なりにイベントの仕事と対人支援の仕事をやってみたいと考え始めました。安定した会社員か退職して新しい挑戦かと悩んでいるときに、会社の先輩であるキャスターの幸坊治郎さんに相談したところ、「50代の女性の新しい挑戦が同世代や後進に勇気を与えるよ」という言葉に背中を押され、退職し、「羅針盤」という意味のコンパスポイント株式会社を東京に設立しました。現在はイベント制作やPR協力、ライフコーチング、キャリア相談、大人のための自己理解・分析講座を行っています。将来は人見記念講堂でイベントを開催することが夢です。

2023年度から光葉同窓会の兵庫県支部長を務めております。正直に申しますと最初は気が重かったのですが、中高部の同窓生と35年ぶりに再会し、同窓生の皆様との温かい交流、仕事で培った経験を活かせるなど、今は人生に思わぬ素敵なギフトをいただいた思いです。

振り返ると人生の様々な場面で、昭和女子大学での学びが活かされており、「世の光になろう」という教えが私の人生の羅針盤なのだ実感しております。これからも母校に感謝の念を持ちながら、光となるべく精進していきたいと思います。【End】

